

なかけん 現場紹介

国道1号佐夜鹿道路 建設工事を終えて

土木本部 大村 庄吾

当工事は国土交通省発注の工事、国道1号線を約7万m盛土し、日坂バイパスとの連絡路を作成する事を主とした道路改良工事です。平成17年11月から施工に入り18年12月に完成しました。

工事箇所は掛川市佐夜鹿(小夜の中山トンネル西側)に位置し、現場代理人の加藤保実、現場担当の松田直樹と私の3名にて施工管理を行いました。

工事を終えて振り返ってみると受注直後から、道路設計変更・電柱等支障物件・用地契約等の問題を抱え、一部一時中止がかかる中での施工となりました。

その影響で盛土が4〜7月という雨の多い時期となったため、盛土材が掛川特有



佐夜鹿道路工事完成写真

のドタン(雨が降ると表面がツルツルとなり車などは通行不能となる)と決まっていた為、施工の判断・方法に苦労したりしました。

また、2km以上にもわたる防護柵延長工事の際、防護柵根入れ確保の観点から浜松河川国道事務所、全数ビデオ撮影が義務付けられ困惑した事もありました。あげればあげるほど苦労した事ばかりが頭に浮かびます。また、こうすれば良かったと反省する事も同様です。

私自身、道路改良工事に伴い、照査・協議・変更等作成に追われて現場全体を見渡せていなかった気がします。その分代理人の加藤や現場担当の松田に負担をかけてしまったと痛感しています。

今回の反省を生かし経験を積み、少しずつでも全体を見る余裕をつくり視野を広げ、出来映え、品質、安全において発注者が満足する物を造りたいと思います。最後に、上司及び協力して頂いた職員、協力業者に感謝したいと思います。

古久蔵下部工工事

土木本部 滝本 昌司



付替道路・河川施工箇所

そもそも、三遠南信道とは三河地域と遠州地域そして南信地域の交流・連携を盛んにする事と、東名高速道路と中央自動車道の代替路として機能させ、国土の大動脈の信頼性を向上させる為に計画された道路です。三遠南信に関連する工事では、当社は以前に水窪町で下部工を何か施工していますし、引佐町での施工は2年程前に関連する進入路の整備工事を施工しています。

当工事は、三遠南信道の本線及びそれに伴う市道と河川の改修工事です。工事



7号橋施工箇所

内容は本線の工事として橋台4基、橋脚1基、道路土工1式、法面土工1式、本線に伴う改修工事として市道及び河川の付替え工事各1式となっています。施工場所は引佐町の別所という地区で、国道257号線から洪川方面へ十分程行った所になります。

三遠南信に関する工事は現在かなりの本数が発注されており、それに伴い多くの業者が近接して作業を行っています。多くの業者がいるということは、それだけ人の眼も多くあり、いろいろな面で他社との比較をされる工事であると考えています。他社との差別化を計り、中村建設の色を上手くアピールして行く事が出来ればと思っています。工種が多くある分、危険要素も増えるので、基本ですが安全第一で施工し、無事故で竣工したいと思っています。

先述した様に他社との差別化を図る為には、皆様の意見があると助かります。提案等ありましたら、ご連絡頂ければ幸いです。近くへお越しの際は気軽に現場へ立ち寄って下さい。

浜松市雄踏小学校 新築工事

建築本部 黒田 淑明

当現場は雄踏町宇布見地内に位置し、中村組ほか複数社とのJVとして施工、全体11,000m²のうち約4,900m²を弊社が担当し、無事3月9日に引渡しを終えました。

当初JV特有の連携に苦心するものと思われましたが、三澤・和田両君の奮闘もあり各社との十分な協議調整が行われ、足並みを揃えた工事を進めることができました。比較的余裕のある工期であったとはいえ、結果として当社が担当した工事もスムーズに行うことができたのはこのためです。



を使うことにより、こういった施設にありがちな無機質な印象を払拭しています。また腰板には杉材を採用するなど温かみのある空間を作ることができました。利用する小学生たちにも喜んでもらえるのではと想像します。

引渡し後の3月20日には卒業式も行われ、学校は機能し始めました。教室が本格的に利用されるのは4月の新学期からとなるのですが、小学校という特別な場所には誰にとっても思い出深いものです。この雄踏小学校が雄踏町の皆様に長く愛され、記憶に残ってゆき、歴史を重ねてゆくことが誇らしく思います。

最後に工事に携わった関係各位の皆様方に御礼を申し上げます。誠に有難う御座いました。



浜北温泉施設 「あらたまの湯」

建築本部 佐藤 保之

浜松市浜北区四大地内の浜北温泉施設「あらたまの湯」の引渡しを3月末に無事行うことができました。

名称の「あらたま」は万葉集の昔からこの地方があらたま(龜玉)と呼ばれてきたことに由来するそうです。

施工においては施設形状が円形でかつコンクリート打ち放しであるため、コンクリート打設方法と施工順序に細心の注意を払い行いました。また、屋根施工においてはPC板の取付施工のアンカーボルトに精度が求められるため、ここにも十分な注意を払い施工しました。浴室ゾーン内部は杉の柱が噴水のように天井を支える意匠となっており、さらに天井窓



から日が入るといふ演出となりました。また、駐車場ほか外構工事も当社で施工を行なわせていただき、建築だけでなく土木においてもなか肯んの施工技術を示すことができました。社内的にも土木部との連携プレーにより施工できたことは有意義でした。外観はあえて装飾を省き落ち着きを持ったものとなっています。そのため周囲の豊かな自然環境に違和感のない存在となっています。

温泉施設には食事処と土産店が併設されていますがゲームセンターなどの施設はありません。市中の家族向け大型レジャー銭湯とは異なり、温泉好きの人向けの本格的なものです。「森林の湯」では周辺環境の豊かな自然を眺めながら開放的な空間を、「石庭の湯」では石庭による落ち着いた雰囲気を楽しめるようになっていきます。どちらにも源泉掛け流しが用意されています。4月1日から大人1名600円で入浴が楽しめます。営業時間は朝9時から夜9時までとのこと。皆さんも「あらたまの湯」で本物の温泉を楽しむにお出かけいただき、同時になか肯んの施工をご覧になってください。

